

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
15年10月26日

申告書・源泉徴収票にマイナンバーの記載なくとも受領します・新潟税務署が回答

マイナンバーの記載なくとも 不利益な扱いはしません

一九日新潟民商は、高橋会長、野上・高橋副会長ら一〇名で、新潟税務署交渉をおこない、竹野総務課長など三名が応対しました。

不安が広がるマイナンバーの対応について、情報漏れが避けられず、業者に過大な負担になり、ナンバーが国民に配達されないことが明らかかな状態であり、実施すべきでないことを訴えました。

税務署は、「記載がなくても申告書等の書類は受領するし、記載がなくても不利益な扱いはしない」と明言しました。

来署依頼での税務調査にも事前 通知の一一項目の説明を徹底せよ

来署依頼で税務調査をしたいとの文書が送られていることから、法定化された調査理由などの事前通知の一一項目の説明を来署依頼の際にも行うよう求めました。これに対して税務署は「実地の税務調査は通知するが、来署依頼の時は説明しない」と回答し、実態に合わない対応に民商の要望に応じない態度でした。

税務調査で仲間の立会いを認めよ 認める場合も離れてもらう場合もあります

税務調査での仲間の立会いを認めよと訴えました。税務署は、税理士法違反の疑いがあるなどで認めないとなりました。しかし、記帳補助者は調査を円滑に行うために認める場合がある、また認める場合でも、調査の過程で離れてもらう場合など、いろいろあると回答しました。民商からは、「われわれは仲間の助け合いでやっている。税理士法とは関係ない。国民の助け合いまで規制する気か」と税務署の立会いを認めるよう強く主張しました。

日程

- 一〇月二六日市債権管理課交渉
- 一〇月二七日国保署名スタート集会
- 一〇月二九日建築・建設交流会
- 一〇月三〇・三一日全商連太田副会長と拡大行動

全商連の太田副会長が30・31日 新潟民商の拡大行動に参加します

細山拡大推進委員長一〇月拡大の決意 読者七〇名、会員一〇名拡大めざす

全国の民商で秋の拡大運動に力を入れていきます。今年五月民商の出る民商運動を目指そうと講演した、全商連副会長の太田さんが、新潟民商と一緒に拡大行動に取り組むことが決まりました。

細山拡大推進委員長は「七〇名の読者拡大は任せなさい」と元気に役員に拡大のお願いをしています。

商工新聞マイナンバー特集の号外 四〇〇〇部注文しました

漫画入りの分かりやすい号外ができました。班会や学習会で使いましょう。読者拡大にも使いましょう。

大江山支部・合同班会開催

十月十六日(金)大江山支部で松直班と大渕班の合同班会が開催されました。会場は「小さな美術館・季」で三名が参加しました。内容は雑談からマイナンバーと戦争法、全国業者婦人決起集会での出来事など幅広く語り合いました。

マイナンバーに関しては、個人番号カードについてとクレジットカード、ポイントカード、診察券を一つにまとめる、「ワンカード化」について学習しました。

婦人部決起集会の国会議員要請行動での話題では、議員は「戦争法に反対でも、賛成せざるを得ない」など参加した人からでしか聞けない話を聞き、「本音を言える政治家がいないとだめだ。」などと様々な意見が出ました。参加者から「来てよかったです。」などの感想をいただきました。



第十四回 全国業者婦人決起集会

IN 東京・日比谷公会堂

十月十五日（木）、新潟民商から十一名が参加。

上野駅宣伝行動

署名のお願い、チラシ配りをしました。気持ち良く受け取ってもらえず、無関心の人達が多く残念。署名を個人情報なので断った人がいたそうです。

国会議員要請行動

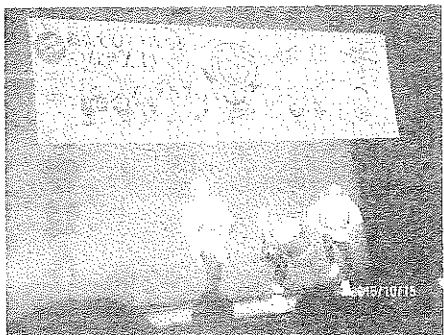
三班に分かれ、「五十六条廃止」「消費税増税反対」「マイナンバーは延期・中止」の紹介議員になってほしいと要請しました。議員不在で秘書から伝えてもらおう状況で、署名も託すことができませんでした。

参議院会館では、渡辺婦人部長が丁寧に説明し要請。十日町の水落議員の所では、地元からの訪問を歓迎され、着物の染物をされている会員さんが五十六条について「子供がローンも組めない状況。都会に出て行き、地元にもつれない。地場産業が発展しない。」の訴えを親身になって聞いてもらえました。マイナンバーも中小業者の対応・負担がたいへんと同感していました。

文化行事は、沖繩の辺野古埋め立て承認取り消しを祝って、カチャーシーを皆で踊りました。

集会・デモ行進

国分会長の感極まった挨拶に始まり、活動交流では倉敷民商の禰屋町子さんが登場。拘置所での人権を否定されたような生活、権力の意図的逮捕であった事が語られました。信頼を失うことはしてない、支援者に励まされたとの涙ながらの訴えに、皆さん胸がつまり涙をこらえています。



集会の後、銀座から東京駅までデモ行進しました。今回も婦人のパワーに圧倒された、感動的な集会でした。



共済会・月岡温泉一泊学習会

関屋支部は、新潟県ふるさと旅行券事業「うまさぎつしり新潟の旅」毎月1億円 宿泊半額キャンペーン」を活用して、十月十五～十六日に月岡温泉で支部共済会の学習会を開催しました。宿泊代金半額プラス新商連共済会と新潟民商共済会からの助成があり、支部からの補助も含め、超破格の参加費で企画出来ました。

学習会は一四名の参加で、近藤支部長の挨拶、大島共済会本部三役（会計）の「民商共済会とは」の挨拶に続き、①基本的な仕組み、②「お元気ですか」新リーフの説明、③「今日の健康（大腸がん）」新聞記事の解説、④大腸がん検診（十一月二日）の取組み、⑤婦人科検診助成制度について事務局が説明しました。最後に野上副会長から「卵（民商入会キャンペーン）と署名（消費税・国保・マイナンバー）」についての訴えがありました。

討議では、大腸がん検診と婦人科検診で大いに盛り上がり大腸がん容器がその場であつという間になくなりました。さらに消費税の軽減税率についての自民・公明の右往左往ぶり、国保引き下げ運動について、BRT連節バス問題に批判が集中しました。全員が活発に発言し、予定時間をオーバーする盛況な学習会になりました。

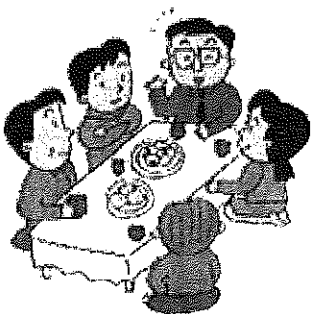
支部集会を開催

曾野木支部

十月十四日、曾野木商工会館にて支部集会を開催しました。八名の方に出席頂きました。

マイナンバーを中心の議論が出ましたが、「国保問題」「BRT問題」「戦争法」など適度に脱線しながら進みました。

情報漏えいした場合の罰則、事業主が準備する事など話し合いました。政府のIT総合戦略本部に提出された書類の説明をする。驚きの声が上がりました。



マイナンバー制度活用推進ロードマップ（案）

二〇二〇年までに「クレジットカード」「診察券」「運転免許」「ポイントカード」などをワンカードする案

そこまでやると、カードを持ち歩かないでダメだし、情報漏れが起きないわけがないとの声もありました。参加者全員が話に加わり、有意義な支部集会となりました。